

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 来たるべき超高齢社会にむけて高齢者福祉課以外の部署は施策の中にどれだけ高齢化対策を位置付けているか</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>自治体において今後、地域住民の高齢化に対しての備えは極めて重要であり、世界的にも「超高齢社会の到来」という前例がないため、手探りの施策になってくると考える。その中でも対象者の増加による介護保険に係る費用の増大は必定であり、そのために担当課は調査研究のもと様々な介護予防施策を打ち出している。よく考えると高齢者もその他の社会人層も日常生活のサイクルはほぼ同じであり、高齢者の快活で活発で健康的な日常生活が一番の介護予防、認知症予防になってくると考える。↓</p>	<p>(1) 高齢者施策の基本方針となる「やすらぎプラン2018」と「瀬戸市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本方針について</p>	<p>① 瀬戸市地域福祉計画・地域福祉活動計画のスローガンは「気づき、よりよい、手をつなぐ」とあるが、対象を高齢者とした場合、地域のだれがこのスローガンを具現化させるのか。また実現していくために、現在地域における取り組みを進めていくなかで、行政はどう関わっているのか具体的に伺う。</p> <p>② ①を進めていくなかでの課題と実現に向けての今後の方針を伺う。</p> <p>③ 地域福祉計画の基本方針の一つに「地域福祉推進のための環境づくり」があり気づく心とつなげる気持ち、ささえあい・つながる仕組みを活かし、地域で自立して暮らすことができる環境づくりを進めるとあるが、高齢者が「地域において自立して暮らす」ということは福祉事業だけではなく活動的な高齢者の日常生活を快適にする施策が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>④ 高齢者が「自立して暮らす」ことの一つに、就業の促進・支援、社会参加活動への支援がありこれはやすらぎプラン2018の基本施策にもある。この就業の促進・支援・社会参加活動への支援を推進していくための取り組みはどの様なものか。また成果と今後の展望はどうか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>そこで移動手段、買い物難民、地域コミュニティ参加、防災の施策にどれだけ市民の高齢化を意識したものが含まれているかを確認し、今後の施策につなげていく。</p>	<p>(2) 高齢者の移動手段（公共交通）と買い物難民対策について</p>	<p>① 本市において高齢者の免許返納者は昨年は388人、本年は現在までで約480人であり今後もその数は増え続けると予想される。この先高齢者の移動手段に対する行政へのニーズは今以上に高まってくると考えられ、コミュニティバス事業はさらに重要になってくるのは明白である。そのためにはまず高齢者の移動手段に対するニーズを把握していく必要があると考えるが、現在のコミュニティバス事業の状況を踏まえ、この交通弱者増加の問題に対しての本市の認識と対策を伺う。</p> <p>② 高齢者にコミュニティバスに乗ってもらう方策、例えば65歳以上は年間パスポートや月額〇〇〇〇円乗り放題等を取り入れて「高齢者のみなさん、どんどんお出かけしてください。瀬戸市はバックアップしますよ。」という積極的かつ地道な働きかけをすぐにでも始めなければと考えるが、本市の見解を伺う。</p> <p>③ 高齢者の買い物難民問題は移動手段が無いことに起因することが大きいと考える。例えばコミュニティバスの改編に販売店の停留を反映させたり、地域団体での日常買い物バスツアーを推進するなど様々な方策があり、平成31年3月議会の一般質問の答弁で「市民活動団体とのコラボレーションプログラムにおいて買い物や移動支援などを複合的に行うプログラムを実施し、その効果を検証することを予定している」とあるが、その後どの様な検証がなされ今後の取り組みに活かしていくのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 災害時の高齢者への対応について	<p>① 11月17日の総ぐるみ防災訓練に表れるように、災害時や災害後に対しての本市の備えはより現実に即したものになってきており、これによって市民の意識も上がっていくものと考えます。災害時の高齢者の避難は独居や持病がある方、自力移動が出来るかどうかなどの様々な形態があり、避難支援をする際にきめ細かい対応が必要であると考えますが、避難支援体制はどのようなものがあるか伺う。</p> <p>② 実際に災害が発生した場合、地域において救助を主体的に行うであろう住民の方々が、高齢者に対しての避難支援体制や救助方法のマニュアルをどれだけ理解していると考えているか伺う。また避難所生活が長くなった場合の高齢者を受け入れる際の備品整備等は出来ているか伺う。</p> <p>③ 高齢の独居の方や持病がある高齢者の方は民生委員や家族の方との情報共有がないと災害時や避難所での対応に苦慮するものと考えます。そのためには常日頃の高齢者に対しての情報共有が必要であるが、地域と行政および庁舎内でそのことに関してどのように情報共有をはかっているのか。また課題と今後の方策を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) まちづくりや地域団体の活動と高齢者</p> <p>(5) 超高齢社会にむけて行政全体で今後どう取り組んでいくのか</p>	<p>① やすらぎプラン2018における施策の柱、地域包括ケアシステムの深化は医療介護連携が構築され今後は2層とよばれる地域毎への浸透が急がれる。これには地域団体等への働きかけが不可欠と考えるが、現在の取り組みのなかでの課題と2層をいつまでに完了していくつもりか伺う。</p> <p>② 平成31年3月議会の一般質問において各地域で行う健康体操を地道に浸透させていき、その輪を広げていくことで健康で快活な高齢者が増え、高齢者の扶助費の予算減額につながった事例を紹介した。その時の答弁は「高齢者の自立支援、重度化防止に向けた一つの方策として事業の優先度、効果を検証し実施の必要性を検討していく」であったがその後どのような検討がされたのか。費用対効果や持続性を考えると本市も「集会所や介護事業所単位で気軽に行える健康体操」に取り組み、地域総ぐるみで高齢者の自立を助ける一助にしていくべきと考えるが、必要性も含め再度見解を伺う。</p> <p>① 大項目1の質問を総括すると今後の高齢者施策は高齢者福祉課だけでなく危機管理課、消防課、健康課、まちづくり協働課、都市計画課、産業政策課などの各課と地域住民が高齢化社会を意識づけ、総ぐるみで取り組んでいく必要があると考えるが見解を伺う。またそうなった場合、効率的な施策推進のため取りまとめる部署が必要で、それを高齢者福祉課が全て行うのは負担増になると考えるが、庁内体制はどう決めていくのか伺う。</p> <p>② 本日お聞きした買い物難民、移動手段の確保、災害時の対応および地域での浸透をどう取り組み、効果的施策にしていくのか具体的にそれぞれ伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2 観光産業の今と未来について</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>本市は観光産業の振興として、本市の観光を競争力のある産業として振興することで、シビックプライドの醸成や知名度向上につながる情報発信を展開していくとあるが、本市を訪れた方々を迎えるための整備について本市はどう認識しているのか。現状と今後の方策を質問し本市の観光の未来像を導くための一助にしていく。</p>	<p>(1) 現在の観光振興施策について</p>	<p>① 現在の観光振興の主な事業としてまるっとミュージアム推進や日本遺産魅力発信推進などの事業があるが来ていただいた観光客の本市への評価をどこまで把握しているか。そこから見えてきた課題は何か伺う。</p> <p>② 観光振興戦略を効果的に推進していくために基軸となる戦略計画と目指している将来像は何か伺う。</p> <p>③ ②の計画と将来像を本市の観光振興事業にかかわる方々がどこまで共有しているのか、庁内体制と併せて具体的に伺う。</p> <p>④ 来瀬していただいた方々に魅せる場所を選定し、その周辺エリアを集中して整備を行い観光産業施策推進の基軸拠点としていくことは非常に重要だと考えるが、本市の見解を伺う。またそれに対しての現状、成果、課題を伺う。</p> <p>⑤ 令和元年 9 月議会で旧山繁商店の質問をしたが④の拠点として旧山繁商店は歴史的観点や瀬戸を感じていただく雰囲気、位置的にも最適だと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑥ 市内外から来瀬（ここでいう瀬戸は瀬戸市の観光案内所がある尾張瀬戸駅周辺をいう）していただいた方にご当地名物を食したりまったりした時間を楽しんでいただくエリアの構築は観光振興の観点から必要だと考えるが、本市ではそれはどの辺であると認識しているか。またそれを整備していくことは観光振興を掲げるうえで自治体の責務ではあると考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(2) 現在の限られた財源の中で観光振興推進のため、整備として何を行うのか。</p>	<p>① 先に示された本市のこの先 5 年間の財政見直しには、公共施設等の更新や高齢化及び市民の多様なニーズに対応していくため、各事業に対する予算配分は非常に厳しいものになっていくと示されており、観光振興事業も同様である。しかしながら振興という観点に立てば投資は必要になってくると考えられ、それを起点として様々な可能性が広がってくると考えるが見解を伺う。</p> <p>② 限られた財源の中での投資戦略は、エリアを決めて、特に先見性と費用対効果を考えて行うべきと考える。しかしながら自治体として所有者が存在する民有地の整備は所有者との折衝等ハードルが高く、すぐ事業着手に至るのは困難と考えられ現実的ではない。また本市の歴史や街の成り立ち、栄枯盛衰からくどこか魅力的なノスタルジックな雰囲気から考えると、更地に新しく施設を作るのではなく背景を含めておいしい名物が食べられまったりでき、そこからまた街歩きができる場所の整備が必要と考える。その観点から深川神社参道脇の宮前地下街は適地であると考え。現在はシャッター店舗も見受けられるが、課題を踏まえての現状を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。